

# 富士見町西町会

当町会は板橋区の南東部に位置し、北は前野町、東で大和町、南で双葉町、西で常盤台と隣接する。町の北辺を富士見街道、南東辺を環七通りで、町域はほぼ住宅街です。

富士見町の地名の由来は、江戸時代から相州伊勢原の大山詣りにこの地を通ると富士山がよく見えたので、富士見の地名が誰言うとなくつけられたと言われていす。

「富士見町西町会」が町会として設立したのは、昭和31年に町名地番整理により、板橋10丁目の範囲が、本町、大和町、双葉町、富士見町が誕生し、常盤台一丁目の一部地域が富士見町に編入されて、昭和32年5月に「富士見町西自治会」として発足し、昭和48年により現町名として新たなスタートをしました。

主な活動等を紹介すると、毎月第一日曜日は「清掃の日」として清掃活動をしなが町内の美化に努め、青少年健全育成を支援するための資源回収を長年にわたり実施し、夏休み期間ラジオ体操、女性部による社会見学会、神社祭礼のお手伝い等に努めています。

現在町会運営は住民の高齢化、生活環境の変化等様々な問題を抱えておりますが、地域の発展と親睦を目標に安全・安心の街づくりを目指しています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています